

## 所蔵資料の紹介

### ◆<sup>サンシン</sup>琉球三味線 [Ryukyu-Sanshin] (<sup>マカビ</sup>真壁型)

弦鳴リュート属。  
沖縄（琉球）・奄美  
地方で用いられる3  
弦の撥弦楽器。中国  
の三弦が訛り線の字  
が当てられた。胴に  
蛇皮を張るので蛇皮  
線とも呼ばれるが、  
弦は蛇皮ではないの  
で俗称である。琉球  
の三線が中世末期に



本土に伝来し改造されて生まれたのが三味線である。保管箱の  
紋は琉球王朝時代の三司官の一人「謝名親方（じゃなうえ〜かた）」のもの。「真  
壁」型は男方で、夫婦三味線の夫・三味線に当たる。沖縄県の重文に値する。  
(全長：78.3cm、1890年頃の製作 屋号：眞三郎濱の真壁)

琉球三味線

### ◆ダラブッカ [Darabukka]

エジプト製。中東及び北アフリカのイスラ  
ム圏で見られる片面皮太鼓。ダラブッカの語  
源はアラビア語の darba（叩く）に由来する  
とも言われている。ドンバク dombak、ドン  
ベク dombek、ザルブ zarb（イラン）、デルボッ  
カ derbocka（モロッコとアルジェリア）、デ  
ブレキ deblek（トルコ）など、国々と地域に  
より多くの異名がある。羊皮の張られた鼓面  
は演奏前に熱で温めたりして音色を調整する。  
(直径：26.5cm、高さ：41cm 1990年代製作)



ダラブッカ

## 事業報告

平成21年(2009年)は次の事業を遂行した。

### 1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料(和書・洋書)1619冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)714点、視聴覚資料(CD、DVD等)343点を収集。

### 2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器の収集と “常設展示”

- 「古典ピアノ室」では、当館所蔵の古典ピアノ等(16～20世紀)を展示、当館スタッフが解説・演奏、また自動演奏ピアノを実演した。
- 「オルゴール室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。
- 「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器(約100点)を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示法も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。

### 3 企画展示の開催

#### ①民音創立45周年記念特別展示

「ピアノ誕生300年」展(同時開催:「民音文化交流史」展)

開催期間/平成20年10月11日(土)～12月23日(祝) 来館者数/25,726名  
平成21年1月1日(木)～7月12日(日) 来館者数/69,683名  
計95,419名

1709年にB.クリストフォリ(イタリア)がピアノを発明してから300年。その歴史と楽器の魅力を、当館所蔵の古典ピアノの演奏や自動演奏ピアノの実演、また写真パネル等で紹介。明治・大正期の国産ピアノの併設展示に加え、ジャズ界の巨星ハービ・ハンコック氏愛用のグランド・ピアノ(スタインウェイ社製)も特別に展示し演奏を披露した。また、45年に亘る民音の文化交流も紹介。

[協力:横浜市歴史博物館、武蔵野音楽大学楽器博物館]



「ピアノ誕生300年」展



「民音文化交流史」展



## ②「子どものための楽器展」

開催期間／平成21年7月18日(土)―9月13日(日)

来館者数／8,648名

世界各地の興味深い民族楽器を“気鳴”“膜鳴”“弦鳴”“体鳴”の4つの性格に分け、実際に見て、触って、音を出して楽しめる楽器展示を開催。多くの子ども達に各国のユニークな楽器を一つひとつ手に取って楽しむこともできる機会を提供した。



「子どものための楽器展」

## ③「子守歌の世界」展

開催期間／平成21年9月19日(土)―12月13日(日)

来館者数／19,774名

日本と世界の代表的な子守歌や歌曲を中心に、日本人にあまり知られていない外国のユニークな子守歌をパネルで紹介。また、懐かしい幼児の遊具・育児用品と子守歌にまつわる文献資料等の展示を通し、日本人の心から近年忘れ去られつつある温かい「子守歌の世界」を現出させた。



「子守歌の世界」展

## 4 文化講演会の開催

### ◇「シルクロード再発見」Part II

講師／藤田敏雄（演出家）

開催／平成21年3月20日（祝）愛媛県美術館 1F 参加者数 113名

開催／平成21年4月19日（日）エル・パルク仙台 ギャラリーホール

（三越定禅寺通り店 6F）参加者数 135名

## 5 教育支援事業の推進

### ①「子どものための手作り楽器音楽体験学習&音楽会」（4日間 計5回）

◆講師／池田邦太郎、斎藤明子

開催／平成21年3月28日（土）、29日（日）民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数 91名

◆講師／池田邦太郎、斎藤明子

開催／平成21年8月1日（土）、2日（日）民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数 154名

### ②「総合学習」

高等学校1校、中学校11校、小学校1校、計13校122名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

### ③「学芸員研修者受入れ」

[学芸員博物館実務研修生]

静岡大学4名他、計8大学の在学学生12名から学芸員資格取得のための研修希望があり実施した。

[学芸員見学研修生]

昭和音楽大学9名、宮城学院女子大学9名、計18名

### ④「大学ゼミ／教師等見学受入れ」

・ピッツバーグ大学、メルボルン大学、ミュンヘン大学、ニューヨーク大学等  
計9名

## 6 関係諸機関との相互協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター等との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助を行った。

## 7 博物館来館者

平成21年総計100,577名、平成9年9月開館当初からの累計来館者数は1,401,770名

### ①「団体及びサークル」

各種団体・サークル計2,170名の見学希望があり実施した。

### ②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育関係者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等計606名の見学希望があり実施した。

### ③「一般来館者」

一般来館者、計96,618名が来館見学した。

## 8 音楽ライブラリー事業活動

### ①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・視聴

平成21年は開館日数150日間、9,896名の音楽ライブラリー利用者(来館者)に資料の閲覧、貸出、視聴を実施。

### ②レファレンス(質問、調査依頼への回答対応)

年間1000件以上の電話やメール(文書)による調査依頼に応じた。

(昭和49年11月開館以来の利用者累計は392,269名 平成21年12月末現在の個人登録者数50,947名、団体登録数5,724団体、2009年Webopacへのアクセス数295,488件)



## 9 出版活動

- ①「民音音楽博物館だより」(平成21年春・夏・秋・冬各号計4回)
- ②「館報」(平成21年3月第5号)
- ③企画展・展示案内:「ピアノ誕生300年展」、「子どものための楽器展」  
「世界の子守歌展」

## 今後の事業予定

### ■音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用。

### 1 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール室、楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

### 2 企画展示の開催

#### ①「ショパン生誕200年展」

開催期間 平成22年1月1日(金)～7月11日(日)

珠玉の音楽を世に送り出した天才作曲家兼ピアニスト・ショパンの“生誕200年”を記念した展示を企画。ショパンの左手型、同時代のブレイエル・ピアノ、自筆譜のファクシミリ、多数の肖像画等を展示すると共に、ショパンの生涯、作品、ユニークな楽曲形式、親密な交友関係、出演したコンサート会場などをパネル展示で紹介。



「ショパン生誕200年展」

#### ②「こどもの世界民族楽器展」

開催期間 平成22年7月18日(日)～9月5日(日)

夏休み恒例の親子で楽しめる企画展。実際に見て、触って、演奏できる世界の民族楽器を一举に公開展示。子供達に音楽の世界への関心と興味をもってもらうための企画展。

#### ③「蓄音機とレコード音楽展」

開催期間 平成22年9月12日(日)～12月23日(祝)

エジソンが発明した蓄音機をはじめ、当館所蔵の蓄音機約20台を紹介し、歴史を刻んだ音も楽しめる展示。

### 3 文化講演会及び記念イベントの開催予定

#### ◇「ショパン生誕 200 年展」記念

遠藤郁子レクチャー・コンサート

開催日 平成22年3月15日(月) 14:00  
民音音楽博物館・古典ピアノ室

#### ◇「ショパン生誕 200 年展」記念

リシェツキ ピアノ・コンサート

開催日 平成22年3月25日(木) 14:00  
民音音楽博物館・ミュージアムホール

#### ◇「ショパン生誕 200 年展」記念

イエルク・デームス ピアノ・コンサート

開催日 平成22年4月4日(日) 18:30  
平成22年4月5日(月) 11:00、14:00  
民音音楽博物館・古典ピアノ室

#### ◇「ショパン生誕 200 年展」記念文化講演会

講師：新渡戸常憲氏(音楽学博士・新渡戸記念館館長代理)

開催日 平成22年5月10日(月) 14:00  
民音音楽博物館・古典ピアノ室

## 所蔵資料

### ■所蔵資料概数(平成21年12月末現在)

- ① 古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール等 68 点
- ② 民族楽器 650 点
- ③ 視聴覚資料 12 万点
- ④ 楽譜 4 万 5 千点
- ⑤ 図書 3 万 3 千冊
- ⑥ 自動演奏ピアノ用ロール / 1133 巻
- ⑦ オーケストリオン用ロール / 114 巻
- ⑧ ミュージックボックス用ディスク / 212 枚
- ⑨ 美術品、写真等の音楽関連資料 11 万点

### 民音音楽博物館館報 第6号

発行日：平成22年3月16日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail [m-lib@min-on.or.jp](mailto:m-lib@min-on.or.jp)

